

平成 23 年 8 月 3 日

「(株)パーキンエルマー社から高性能放射線測定機器の貸与」

【概要】

(株)パーキンエルマー・ジャパンから、放射線計測で使用する高精度分析装置 3 機種（および補器 1 機種）の無償貸与（本体定価 6,200 万円相当）とそれに関わる消耗品類一式（1,000 万円相当）：総額 7,200 万円相当を受けたのでこれを報告する。また、それらの機器の紹介と用途なども簡単に紹介する。

【詳細】

東日本大震災を発端とする福島第一原子力発電所事故によって、福島県を取り巻く放射線状況は一変し、素早い状況把握が求められている。科学的な根拠に基づいた正確な情報取得のためには、専門の精密分析装置が必要であるが、本学はこれらの装置を有していなかった。この状況に、米国の大手分析装置メーカーのパーキンエルマーとその日本法人であるパーキンエルマー・ジャパン社（本社：横浜市保土ヶ谷区、青木睦郎 社長）が、震災後いち早く（4 月 9 日）に福島大学への支援を打診した。福島大学と同社とで貸与契約を交わし、装置受け入れの準備（電源・排気工事など）を終えた翌月の 5 月 18 日に高精度分析装置 3 機種（ガンマカウンター、液体シンチレーションカウンター、ICP 質量分析装置）とそれらの補器であるマイクロウェーブ試料前処理システム一式を本学共生システム理工学類内に設置した。機器メンテナンスを終えた 5 月 21 日より本格的な稼動を始めた。これらの装置に関する当面の消耗品は、パーキンエルマー社より無償で提供された。また測定に関わるサポート等も全面的に行われている。放射線源の測定技術では、共同で新技術開発を行うなど、福島県の放射線状況の一刻も早い打開に共同で取り組んでいる。

【支援元の会社概要】

会社名：株式会社パーキンエルマー・ジャパン

（世界規模の分析装置メーカー。米国 PerkinElmer, Inc.の日本法人）

<http://www.perkinelmer.co.jp/corp/index.html>

代表者：代表取締役社長 青木 睦郎

事業内容：分析機器・バイオ関連機器及び試薬の輸入販売・サポート

（米国本社）アメリカ合衆国マサチューセッツ州ウォルサム

工場所在地 米国、カナダ、フィンランド、イギリス、オランダ、シンガポール

売上高 US\$ 17.10 億ドル（2010 年度）

株式上場 米国ニューヨーク証券取引所